

第 8 回浜田市総合振興計画審議会

日時 平成 27 年 10 月 28 日(水)
午後 3 時 30 分～午後 4 時 40 分
場所 浜田市役所 (4 階) 講堂

[進行/会長]

1 開会、会長あいさつ (5分)	
会長	<p>定刻になりましたので、只今から第 8 回「浜田市総合振興計画審議会」を始めさせていただきます。</p> <p>前回の第 7 回審議会では、「元気な浜田づくり市民委員会」成果報告会を傍聴いただいた後、中間答申した計画案に基づいて、全般的な面においてご審議いただきました。</p> <p>本日は、パブリックコメントや団体ヒアリングでのご意見、市議会からのご意見を踏まえまして、最終的な計画案を決定したいと考えておりますのでよろしくをお願いします。</p> <p>また、本日の審議会を最終としまして、明日 10 月 29 日 (木) には、総合振興計画と総合戦略の案について、市長へ最終答申を行う予定にしておりますので、どうかよろしくをお願いします。</p> <p>それでは、本日の欠席委員について事務局からお知らせ願います。</p> <p>あわせて、配付資料の確認もお願いします。</p>
事務局	<p>本日の欠席委員ですが、佐々木重盛委員、一法師康裕委員、中村洋平委員、花田香委員の 4 名の方から欠席の連絡をいただいております。</p> <p>(配付資料の確認)</p>
2 議題	
<p>(1) パブリックコメント等に対する市の考え方について、</p> <p>(2) 総合振興計画案について</p> <p>(3) 総合戦略案について</p>	
会長	<p>それでは、議事に移りたいと思います。</p> <p>まず、(1) パブリックコメント等に対する市の考え方について、(2) 総合振興計画案について、(3) 総合戦略案について、の 3 件を一括してご審議いただきたいと思います。</p> <p>それでは、パブリックコメントで提出された意見と、団体ヒアリングでの意見、さらには 10 月 23 日に開催されました議会との意見交換会での意見を踏まえまして、市の考え方、それと計画案へ反映した箇所について、事務局から説明をお願いします。</p>
地域政策部 次長	<p>資料 1 をご覧ください。10 月 1 日からパブリックコメントを行い、そこに挙げてありますように意見聴取等を行いました。</p> <p>パブリックコメントは 10 月 1 日から 10 月 20 日まで行い、合わせて 12 名の方から 35 件の意見をいただきました。総合振興計画に意見を出された方は 11 名ですが、次にある市民委員会成果報告を開催したこともあり、パブリックコメントの意見数としては多いものとなっております。</p> <p>10 月 9 日には、「元気な浜田づくり市民委員会」成果報告会を開催しました。45 名の方が参加し、そのうち 8 名の方から意見をいただきました。</p> <p>成果報告会の後、第 7 回総合振興計画審議会を開催し、審議会委員 18 名の方にご出席していただいたところです。</p> <p>また、団体ヒアリングを 10 月 19 日から 20 日に資料の 4 団体に訪問して意見</p>

を伺い、34件の意見をいただきました。

10月23日には、市議会との意見交換会を行い、議員22名が出席し、多数の意見をいただきました。

それらのいただいた意見等につきまして、順次説明をします。

資料2をご覧ください。パブリックコメントでの意見と、それに対する浜田市の考え方です。この中の計画案を修正したものについては、後でまとめてご説明いたします。

資料3をご覧ください。先ほど説明しました4団体を訪問して伺った意見でございます。こちらにつきましても変更点を後ほど説明いたします。

資料4をご覧ください。パブリックコメント等を踏まえて、いただいた意見等に対する対応を検討した結果、総合振興計画案を変更することとなった箇所を赤字で示したのですが、これについても一括して後ほど説明いたします。

資料5をご覧ください。同様に総合戦略についてパブリックコメントまでにいただいた意見に対する市の考え方により、変更した箇所を赤字で示したのですが、一括して後ほど説明いたします。

資料6をご覧ください。市議会との意見交換の際に、いただいた意見に対する市の考え方を示したものです。

資料7が総合振興計画の変更箇所となります。資料7の別添資料、浜田市総合振興計画(案)ですが、パブリックコメントから市議会との意見交換までにいただいた意見により、前回までにお示ししました総合振興計画の修正箇所についてご説明いたします。なお、表現の軽微な変更は省略させていただきます。

9ページでは、「4まちづくりの大綱」の中の「IV自然環境を守り活かすまち」の中、赤字の箇所があります。修正前は「美しく豊かな自然環境を引き継ぐため」としていましたが、自然と景観は別なものではないかという意見により見直し、「豊かな自然や美しい景観を引き継ぐため」と修正しました。

24ページでは、TPPが可決したことにより、農業への影響も予想されますが、それを逆手にとって海外への輸出を目指すべきという意見に基づき、記述を追加しております。26ページの中ほども同様に、農産物について海外への輸出を積極的に取り組むことを追記しています。26ページには、儲かる農業の推進というならば目標を示すべきという意見に基づき、「農家所得500万円の実現」を追加し、②では担い手の確保について具体的にU・Iターン者の数や集落営農について追記してほしいという意見に基づき、追加しております。

28ページでは、「現状と課題」の所に赤字の部分がございますが、公共交通について、買い物対策として移動販売等の推進に触れるべきという意見がありましたので、公共交通の所ではなく、「商工業の振興」にその趣旨について追記しました。29ページには、「地域資源活用推進条例(仮称)の推進」といった取組を追加しております。

30ページでは、「③産業を支える人材育成」で、10年後の浜田の産業が本当に厳しい状況になるということで、そうならないように若い人材を積極的に受け入れるようにするべきという意見に基づいて、その趣旨を追記しています。

35ページでは、国際観光、インバウンド、海外からの観光客を受け入れるという施策に対する記述が弱いという意見がありましたので、追記しています。

36ページの「企業立地による雇用の促進」では、JR三江線の廃止検討の報道があり、もし廃止されれば雇用面にも影響が大きいので、その対策も必要だという意見に基づき、追記しています。同様の記述が公共交通でも出きます。

45ページは、「子どもを安心して産み育てる環境づくり」ですが、「島根県が

	<p>進める子育て支援施策と連携し」と追記しています。これは、県の総合戦略の中に、子育て支援については市町村を支援するといった意味合いの記述が入ったことから、県と連携して支援を取り組むことを明記したものです。</p> <p>49 ページの「障がい者福祉の充実」では、「雇用を拡大するための支援を関係機関と連携しながら行います。」という記述でしたが、「障害者優先調達推進法」が制定されたこともあり、その方針に基づいて、具体的な記述に修正したものでございます。</p> <p>57 ページの「社会教育の推進」では、基本方針に「図書館について個人の要求に答えるだけでなく、社会教育施設としてまちづくりに資する役割がある」との記述を盛り込みました。「ふるさと郷育の推進」には、「浜田市の人物読本の紹介・活用」の取組を修正しております。</p> <p>62 ページでは、「浜田開府 400 年」の記述で、浜田市には浜田藩だけでなく、津和野藩もあるので触れてほしいという意見があり、追記しております。</p> <p>66 ページでは、公共下水道に関する記述もあるところですが、今までの記述だと公共下水道の整備待ちになるというように取られるので、そうではなく、まず身近な水環境の改善に取り組む運動により、市民の意識を高めることが必要という意見があり、それに基づき、「基本方針」、「主要施策」を見直しております。</p> <p>74 ページでは、三江線廃止検討の報道に伴い、バス路線や JR 山陰本線を含めて関係団体と連携して取組を強化することが必要だということを追記しています。また法改正に柔軟に対応するため、「現状と課題」の 3 番目を見直しております。</p> <p>84 ページの「災害に強いまちづくりの推進」ですが、現在、災害時に他自治体との相互支援協定を結んでおり、それについても記述すべきという意見に基づき、84 ページ、85 ページの③で補強しております。</p> <p>99 ページの「大学等の学生支援」では、昨年度から取り組んでおります坂根正弘奨学金事業の説明とその取組を追加しております。</p> <p>105 ページの「②活力ある地域コミュニティの形成」では、「まちづくり推進委員会の組織率の向上」の目標、また「③地域コミュニティと連携した防災力の向上」で「自主防災組織率の向上」の目標を挙げており、③自主防災組織率の目標は 70%でしたが、②の目標値が 85%で目標に整合性がないという意見に基づき、自主防災組織率の目標を 85%に上げております。なお、②と③では町内の割合と世帯の割合で計算の仕方が違うので、②については括弧書きで全世帯数の割合も示しています。</p> <p>以上が浜田市総合振興計画案の主な修正箇所でございます。</p>
<p>地域プロジェクト推進室長</p>	<p>続いて、総合戦略の修正箇所についてご説明させていただきます。</p> <p>団体ヒアリングやパブリックコメントを通じて、個別の具体的な意見が色々と寄せられました。これについて、大きな方向感として既に掲載しているものについては表現の修正は行っていません。具体的な施策を今後検討する上で、参考にさせていただきたいと思っております。総合戦略は、総合振興計画の中から抜き出した計画ですので、重複している修正箇所については省略させていただきたいと思っております。</p> <p>最初に総合振興計画にも関連がある部分について、総合振興計画の別添資料の 10 ページをご覧ください。基本指標について掲載しています。1 点は、基本指標を人口、出生数、社会増減数と 3 つ載せていますが、「出生数と同様に亡くなる人の目標を掲載すると人口推計が分かりやすいのではないか」というご意</p>

	<p>見を頂戴しました。事務局としては、亡くなられる人の数は、なかなか指標にしにくいと思っております。修正はしないというふうに考えていますが、これについては後ほど委員の皆さんのご意見を頂戴したいと思います。</p> <p>その下の人口推計値ですが、国勢調査のデータを基に、全国の自治体を推計しております。浜田市も同様でございます。ただし、これを毎年検証していくということになると、国勢調査は5年に1回ですので、なかなか数字が追えないのではないかとということで、「住民基本台帳の数値を用いるべきではないか」という意見がございました。検証する上では、住民基本台帳の数値を用いる必要があるかと思いますが、全国同様に国が示した基準であれば国勢調査の数字でも、ということになっておりますので、修正はせずに住民基本台帳ベースの推計値についても検証時等に分かりやすい形でお示しする方法を考えたいと思っております。浜田の場合は、矯正施設の関係で1,500人から2,000人くらいは国勢調査の数字が多くなっていると思っております。</p> <p>総合戦略の別添資料20ページをご覧ください。島根県の人口シミュレーションはこれまでも載せておりましたが、県では試算④を目指すということをはっきり示しておりますので、県の試算がどれかをはっきり示したということです。</p> <p>33ページでは、中ほどの「地産外商」という表現ですが、「消」の字から「商」に変更しております。市外に産物を売っていくという政策的に積極性を持たせた表現に変更させていただいております。</p> <p>48ページでは、施策2の「ゆとりある子育てへの支援」ということですが、島根県も独自の子育て支援策を打ち出されました。まだ具体的な詳しいことは分かっておりませんが、浜田市の独自施策と重複することも出てくると思えます。そうしたものをしっかりと連携して、浜田市の独自性も更に出して支援策を進めていきたい、県としっかりと連携をするということを明記しております。</p> <p>総合戦略の修正箇所については以上です。</p>
質疑応答	
<p>会長</p>	<p>只今、パブリックコメント、団体ヒアリング、議会の意見についてご説明いただき、あわせてその反映箇所について説明いただきました。</p> <p>これらについてご質問やご意見があれば、お願いします。</p>
<p>来原委員</p>	<p>商工業の24ページについて、漁業、農業関連もですが、海外への輸出を積極的に取り組むということは、浜田のためにとっても良いことだと思います。それを全面的に出されるということであれば、例えば現在、浜田港からお魚を出すことになれば、基本的には鮮魚で出すということは難しく、冷凍で出すこととなります。実際、私も業務を通じて色々な業者とお話をしますが、浜田港のインフラ整備が整っていないので、浜田港から冷凍の魚の輸出は難しいため、よそから出しているという声があります。</p> <p>入れる業者さんも、浜田港ではなく、他の港に入れる等しています。なぜかということ、浜田港の港湾本部に冷凍庫であるとか、そういったものがないので、基本的には通関をする状況、輸入の場合は通関できるが、輸出の場合は通関する場所がありません。港の中にJFさんや一業者が持っている保税の冷凍庫があるが、こちらで通関したとしても、今度はもう一度そのものをコンテナに乗せてコストがかかります。例えば、32ページに「港の利用促進と取扱貨物量の増加」とかありますが、この中にインフラ整備ということを是非入れていただかないと、インフラが整っていない状況であれば実際できるのかということになりますので、やはりそういう施設を整えるといったインフラ整備を入れていただくことを検討していただきたいと思います。</p>

地域政策部長	<p>おっしゃいますように、海外に魚を輸出しようとするので冷凍して出すということが必要になってきます。保税地域の冷凍庫があることは私どもも承知しています。その書き込みについては、検討させていただきたいと思います。ということではありませんが、23ページには漁港エリアで冷凍・冷蔵庫を整備しなければいけないということで、主な事業の取組に入れております。浜田漁港と浜田港は隣接していますので、今後、保税エリアの検討や色々連携した取組、水揚げを上げるために売ることが必要になります。販路を拡大することであれば、漁港と輸出する浜田港の一体的な考え方も必要ではないかと思えます。</p> <p>今の保税エリアに冷凍庫を作って、漁港では水産加工用の冷蔵庫を作るのかという色々な問題があると思いますので、ご意見はごもっともで、考えなければいけないと思っています。取扱いについてはもう一度、産業経済部と相談させていただいて、総合振興計画に書き込むということもあります。それを実行することを念頭に置いてやらなければいけないと認識ですので、ご理解いただければと思います。</p>
会長	<p>答申まで時間ありませんが、検討させていただきたいと思います。その他ございますか。</p>
佐々木玲慈委員	<p>総合振興計画案10ページの基本指標に、死亡の数字を挙げるということで、資料6に分かりやすいのではないかという意見がありますが、生まれるのを予想して頑張ろうというのはいいが、目標に亡くなる人の数を挙げるというのは情情的にも難しいかなと思います。そういうことを載せているといったところも聞いたことが無いので、やめておいた方がいいのではないかと思います。</p> <p>それと、74ページの「公共交通の充実」について、公共交通の利用促進とか維持について書いてありますが、新たな資料の中で高速鉄道を作ったりということが、今後展開していく中で受け入れられることなのかということについて、説明いただきたいと思います。</p> <p>新聞報道によると、出雲圏域、松江圏域で高速鉄道の陳情がなされているということがあり、鉄道の廃止、維持が困難という話題ばかりですので、できれば高速鉄道を起こします、という明るい展望のことが書ければいいなと思っています。この中でそういった解釈をしていいのかをお伺いします。</p>
地域政策部長	<p>まず、死亡数の必要性については必要ではないというご意見をいただきありがとうございます。事務局としても、委員がおっしゃったように思っておりますが、委員の皆様がそういうご意見であれば、そういった取扱いにさせていただきます。</p> <p>公共交通については、確かに高速鉄道とかが書ければいいと思いますが、具体的には書き込みにくい部分があります。ただ、74ページの3つ目に「法改正に対応した新たな施策の導入」という言葉を加えております。これは議会との意見交換会で、これまでの既成概念にとらわれないで、公共交通で人と物を一緒に運んだり、色々な取組ができるようになってきているので、もっと柔軟な考え方でやるという意味でこの文章を入れてほしいということでしたので、ここでご理解いただければと思います。</p>
佐々木玲慈委員	<p>理解しました。</p> <p>それと、84ページに「近隣周辺自治体との相互応援体制の充実」とあり、85ページでは「他の自治体」とありますが、「周辺自治体」というのは、周辺の石見地域かなと理解するのですが、「他の自治体」とは、例えば昨年広島で大雨の災害がありましたが、県境を越えての災害救援などを踏まえての理解でいいの</p>

	かを説明いただければと思います。
総務部長	<p>「現状と課題」と「主要施策」のところで表現を変えていますが、具体的には茨城県銚田市とも協定を結んでおりますので、周辺だけではなく、全国の他自治体という考えで整備を進めていきたいと考えております。</p> <p>近隣で災害が起きますと、同じような災害がどこも起こり、近隣自治体だけでは応援態勢がとれないことがあります。萩市や益田市とも協定を結んでいますが、広域的に協定を結んでおかないと、いざ災害が起きた時に、同じような災害が近隣の自治体も被災に遭われる可能性がありますので、少し離れた地域とも相互応援の協定を結ぶ必要があると考えていて、そういう意味で「他の自治体」と表現しています。</p>
佐々木玲慈委員	島根原発で被害があった時の受入も、大田以西になっているからと認識していますが、そういうこともあるのでしょうか。
総務部長	島根原発については、県から協力依頼があり、浜田市は松江市内の地区を定めた部分の受入をするようになっていきますので、その考えで進めていきたいと考えております。これはどちらかという、それ以外の部分の災害協定のことを加味しての表現としています。
佐々木玲慈委員	33 ページの「地産外消」の字を「商」にしたということについて、特産品を売る時に、特別な産品は特別なものしか売れない、我々バイヤーが扱うのは商品なので「商」の方が生産者に求めるものだと聞かされたことがありましたので、これは非常にありがたい変更だと思います。
会長	<p>佐々木委員に今の部分の確認ですが、表現として修正は要らないということでしょうか。</p> <p>委員の皆さんに確認ですが、基本指標に死亡の数は入れないという判断でよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なしの声あり)</p>
玉置委員	「地産外商」という言葉ですが、括弧でくくられた方がいいのではないかと思います。これは浜田市役所の造語でしょうか。一般の人が読んだ時に、間違いではないかと思われるような時は括弧があった方が親切ではないかと思いました。
地域プロジェクト推進室長	「地産地商」については、既に前例がございます。インターネットで調べても出てまいります。用語解説を加えさせていただきます。
玉置委員	ヒアリングを色々されて、1 つはパブリックコメントからの意見を入れたということで、資料 1 の団体ヒアリングで、商工関係の方、高齢者クラブ、建設業界とありますが、農業・漁業関係者といった 1 次産業の代表者の方にはヒアリングを行っていないということで、これは何か意味があるのでしょうか。
地域プロジェクト推進室長	<p>今回はこの期間に、4 団体にヒアリングをさせていただきましたが、それぞれの担当課が色んな機会に、会議や色んなところで意見を聴取していた内容もありますので、そのようなことは総合振興計画や総合戦略の作成時に反映しております。改めて第 1 次産業の方にヒアリングは行っておりませんが、審議会委員さんの団体先以外についてはヒアリングで意見をいただき、委員さん方には代表してお願いしている部分もありますので、そのような対応としております。</p> <p>今回の 10 月 19 日、20 日でヒアリングは行っていませんが、その他の団体としては浜田市 P T A 連合会、山陰中央新報社、それから中・高生アンケートなども実施しており、より多くのご意見をいただくよう努めたところです。</p>

玉置委員	この資料の意見の中には、漁業・水産業の方の意見が1件しかなかったので、そのように思ったのですが、分かりました。
佐々木大輔委員	<p>手短に2点ほど質問させてください。</p> <p>総合振興計画の35ページに「インバウンドの推進」という記述を追加されたということで、海外に目を向けるということは非常にいいと思いますが、国内旅行とインバウンドというのは取組方が全く別物になりますので、そこを一緒に考えるのは、結果につながらないと思いました。</p> <p>それと、総合振興計画の115ページで、PDCAサイクルの運営体制について気になるということを書いてきましたが、計画を始める時には体制を決めておかなければいけないかなと思っていますが、それはどの段階で決まるのでしょうか。</p> <p>以上、2点についてお願いします。</p>
地域政策部長	<p>35ページの追加した部分については、今回特に議員さんから要望いただいたのは、海外友好都市の中国とかへも働きかけをしてほしいという意味でインバウンドという言い方になっています。</p> <p>今、日本には東南アジアもしくはヨーロッパの方がたくさん来ておられますが、宿泊施設等の問題があって、浜田に団体旅行客を受け入れることをこれまでも試みましたが、難しい状況にあります。そういう課題も検討しなければいけないということで、トータル的なイメージで作って、具体的にどう実行するかはこれからの課題だと思っていますし、まだ国内の日本人旅行者を呼び込むことも十分にできていない状況ですので、その辺も踏まえて考えていきたいということで、具体的にすみ分けができる状態ではないですが、そういうご意見を大きく括らせていただき、加えさせていただいたということでご理解いただければと思います。</p>
地域プロジェクト推進室長	PDCAサイクルのために、進捗管理をどのようにするかということですが、前回の審議会でも、この会が検証機関となつてはどうかと、ご意見をいただきましたので、また後ほど改めてご審議いただきたいと思っています。
会長	進捗管理の件は一旦おきますが、インバウンドの記述の追加については、佐々木大輔委員いかがでしょうか。
佐々木大輔委員	私も実は知っていましたので結構です。
会長	浜田商港のインフラ整備については、対応できるか分かりませんが、試みってみるということでよろしいでしょうか。
地域政策部長	先ほどの説明で漏れておりました。具体的に冷凍庫という言い方はしておりませんが、「施設整備の推進」という言葉を入れさせていただいております。抽象的ですが、他にも浜田港を利活用するためには、まだ色んな問題があります。31ページの下を見ていただきますと、「地域経済を支える物流拠点として更なる港湾整備の推進を図ります」という抽象的な言い方ですが、この中で捉えさせていただいて、保冷用の冷凍庫というのは、これから具体的な施策をやるためには働きかけていきますが、県との調整もありますので、この程度の書き方でご理解いただければと思います。
会長	<p>それでは計画実施、施策展開の際にご配慮いただくということで、総合振興計画の表現としてはこのままで進めていきたいと思っています。</p> <p>他にご意見がなければ、本日もご説明いただいたように修正するというのでよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なしの声あり)</p>

	それでは提案どおり修正するという事で決定いたします。
(4) 総合振興計画及び総合戦略の最終答申案について	
会長	続きまして、(4) 総合振興計画及び総合戦略の最終答申案について、を議題といたしますので、事務局から説明をお願いします。
企画係長	<p>資料9をご覧ください。</p> <p>明日10月29日に、会長さんから市長への最終答申案でございます。記の1までは中間答申と一緒にですが、2で意見を付けております。</p> <p>これまで8回の審議会に加えて部会も行っていただいておりますが、これまでのご意見を踏まえまして、大きく3点の意見に絞らせていただいております。</p> <p>1点は「人口減少対策プロジェクトについて」ということで、今後人口減少に伴って、地域の機能低下が懸念されるというようなことから、在住する市民への定住施策、それからU・Iターン者への定住施策、こういった両面から、全市・全庁的な人口減少対策施策に取り組むということとしております。</p> <p>2点目に「行財政運営について」、今後厳しい財政運営が見込まれるということで、協働した各種事業を進めること、積極的な行財政改革にも取り組むこととしています。</p> <p>3点目に「総合振興計画及び総合戦略の進捗管理について」、市民の皆さんによる組織で評価を毎年実施するという事で、より多くの市民に分かりやすく情報を提供できるように進めてほしいという3点の意見を付しています。</p> <p>この案については、事前に会長さんと相談させていただいたところでございます。</p> <p>また、進捗管理については、先ほど佐々木大輔委員からもありましたが、前回会長さんからもありまして、審議会委員25名の皆さんが、基本的には来年度からも進捗管理に携わっていただきたいと執行部では思っています。具体的な任期をどうするか、いつ開催するか、何回開催するか、といったところは現在検討中でございます。その辺りは計画には明記できませんが、総合振興計画審議会が継続して進捗管理に携わっていただきたいという考えでございます。</p> <p>以上ご提案申しあげますのでよろしくお願いします。</p>
会長	<p>只今、事務局から最終答申文書案について説明いただきました。</p> <p>この附帯意見につきましては、事前に事務局と私で協議をして作成させていただいたものでございます。</p> <p>ご意見があればお願いします。</p> <p>また、進捗管理については、この審議会で行っていくということですが、よろしいでしょうか。</p> <p>(意見なし)</p> <p>それでは、この答申文書により、明日10月29日(木)午後4時30分からの予定で、市長に答申したいと思いますよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なしの声あり)</p> <p>ありがとうございます。それでは、この内容で最終答申させていただきます。</p>
3 その他	
(1) 今後のスケジュール	
会長	続きまして、「3 その他」の(1) 今後のスケジュールについて、事務局から説明をお願いします。
企画係長	<p>レジュメの下の今後のスケジュールをご覧ください。</p> <p>明日、市長への最終答申を行い、10月30日(金)には庁内策定委員会で内部決定し、総合戦略については国に出す段取りが整うこととなります。</p>

	<p>11月には、計画案について報告したいと思いますが、総合戦略については、11月上旬に議会全員協議会がありますので、そちらで報告します。</p> <p>12月市議会定例会は11月30日から始まる予定ですので、総合振興計画議案を上程し、12月16日に議会議決を得る予定です。その後、計画書の冊子印刷の業者発注を予定し、3月下旬には印刷が完了し、概要版は全戸配布したいと考えております。</p> <p>そういった流れで、今年度の計画策定が終わる予定です。</p> <p>なお、概要版につきましては、現段階で構成を詰めておりませんが、できるだけ市民の皆さんに分かりやすい内容にしたいと思っています。あわせて、ホームページ等でも公表させていただきますし、ケーブルテレビ等でも皆さんにもお知らせさせていただきたいと思っております。</p> <p>また、必要に応じまして、地域からご要望がありましたら、出前講座というような形で説明させていただくことも可能かと思っております。周知方法については検討させていただきたいと思っています。</p> <p>以上のように進めさせていただく予定でございます。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>計画書の全体版で、付属資料のようなものが予定されていますでしょうか。</p>
企画係長	<p>総合振興計画の目次のところを見ていただきますと、資料編ということで8点あります。これらについては入れる予定ですが、ここに抜けているものがありまして、検討中ですが、100人委員会の開催実績は掲載しようと思っております。中高生のアンケートについても、追加させていただこうと思っております。</p> <p>概要版に、そういったものが載せられるかは予算の都合もありますので、どうやってPRするかは検討させていただきたいと思っております。</p>
会長	<p>只今、説明がありました今後のスケジュールについて、ご意見等ありますでしょうか。</p>
玉置委員	<p>パブリックコメントに対する市の考え方、回答についてはどのようにして市民の皆さんにお知らせするのでしょうか。ホームページに載せるだけですか。</p>
地域政策部長	<p>パブリックコメントをやる時に、その回答については個別にはせず、ホームページ等で公表して、それに代えさせていただくということを、募集時に周知しておりますので、そういう考えでおります。先ほど申しましたように、修正等取り組むべきものは、取り組ませていただくということですので、回答としましては玉置委員からありましたように、ホームページ等で報告とさせていただきます。</p>
玉置委員	<p>コメントされた方が全部で11人、少ないです。どうせ言ってもだめとか、知らない方、無関心な方と色々あると思いますが、今後のことを考えますと、できるだけ多くの市民が意見を述べて市政に参加するといった動きをしていかなくてはいけないと思います。</p> <p>100人委員会にもあれだけの方が集まられて、市民の方も非常に関心のある方は関心があると今回感じました。ホームページだけというのは、デジタルと無関係に生活している方には届かないし、例えば市報でパブリックコメントはこれだけありました、ホームページで公開しておりますので見てくださるか、少なくとも公開しているということだけでも宣伝するとか、できることを全てやっていただいて、市民の関心を得る術をとっていただきたいと思います。</p>
地域政策部長	<p>パブリックコメントや団体ヒアリング、中高生のアンケート、色んな方法で市がやっていることに、皆さんのご意見をいただくという手法でやりました。</p> <p>今ありましたように、市民の皆さんと市が一緒になってまちづくりをすると</p>

	<p>ということが大きな柱になっています。そのことからすると今回、最終的にご意見をまとめていただきました総合振興計画の冊子を、全世帯に配るのは難しいですが、概要版をお配りして、浜田市がこれから目指す総合振興計画をいかに皆さんにご理解いただくかということが最も重要だと思っております。その一つの手段として、パブリックコメントや団体ヒアリングの公表も大事ですが、浜田市のこれからやらなければいけないことは、まずは計画を周知して、ご意見をいただきながら実行していく、という取組が重要だと思っております。</p> <p>いただいたご意見等も踏まえて、総合振興計画や総合戦略を皆さんにお伝えし、関心を持っていただく努力、例えば地域に出かけて意見交換会をすることなどで力を入れさせていければと思います。</p>
馬場委員	<p>検証とか進捗管理体制について、前回の資料編にも策定体制は明記してありますが、進捗管理体制については言葉だけになっています。できれば資料編にはページ数の制限とかはないと思いますので、そこで進捗管理体制についても明記をしていただければと思います。</p> <p>職員ももちろんですし、市民も同じ方向を向いて、今後浜田市をどうしていくかということ考えた時に、バイブルみたいな形にして皆が共有できるものだと思いますので、管理体制をどうしていくのかということも重要ではないかと思っておりますので、ぜひ検討をお願いしたいと思います。</p>
地域政策部長	<p>ご意見ありがとうございます。先ほど提案させていただいて、皆さんご理解いただいたと思いますが、進捗管理についてはこの審議会委員 25 名の皆様に引き続きお願いをしたいということで、先ほど会長さんからもありましたが、皆様からのご承認をいただいたということであれば、今回の総合振興計画の最終的な冊子には、審議会委員の皆様のお名前を載せさせていただきます。</p> <p>あわせて皆様に進捗管理をしていただくということで、そのことをどこかに入れさせていただいて、今後の進捗管理の進め方は、策定に携わっていただいた皆様に引き続きご協力いただくということをご提案させていただきます。</p>
馬場委員	<p>全体については、それでよろしいかと思いますが、ただ担当部門について、PDCAサイクルに基づいてプランニングして評価する流れが各担当部、担当課で必要ではないかと思っておりますので、策定体制のところではPDCAサイクルに基づいて評価するとか、そういったところではご検討されていないのでしょうか。</p>
地域政策部長	<p>庁内体制ですが、皆様にご報告するためにそれぞれやらなければいけないと思っております。庁内のことまでは書けるか分かりませんが、作業的にはおっしゃられたようなことをやっとうと思っておりますので、各部と検討させていただきます。実際の作業としては、そういったことをさせていただき、それを積み上げたもので報告することになると思います。</p>
会長	<p>ここで、私から一つ提案ですが、来年 3 月の計画書が完成する頃に、第 9 回審議会を開催して、完成した計画書を審議会委員の皆さんに、執行部からご報告いただきたいと思いますと思いますが、皆さんいかがでしょうか。</p> <p>提案の理由としては、1 つ目に資料編のところに少し新しい情報が入ってくるだろうということ、恐らく報告にはなると思いますが、ご確認いただきたいと思います。2 つ目に進捗管理について、審議会で引き続き行っていくという方向性でご承知いただきましたので、その辺りのご議論をいただきたいと思いますのでの提案でございます。</p> <p>8 回もの会議を重ねて、尚かつ第 9 回となると心苦しいところもございしますが、そのようにさせていただければと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>(特に異議なし)</p>

	<p>あわせて、計画書が完成しましたら、第9回審議会に合わせて、皆さんとの慰労会を開催したいと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>(特に異議なし)</p> <p>それでは、そのようにさせていただきます。</p>
(2) 事務連絡	
会長	続きますして、事務連絡があればお願いします。
事務局	<p>(委員報酬等の支払いについてお知らせ)</p> <p>続いて、今日、計画案を承認いただきましたが、明日会長さんから市長に答申いただきまして、12月議会で議決を受けるという予定です。その後、議会議決後の資料についても、皆さんにも改めて送らせていただこうと思っております。3月末まで任期はございますし、必要に応じて情報を提供させていただくことを考えておりますのでよろしくお願いいたします。</p>
会長	その他、委員の皆さんから何かありましたら、お願いします。
◆ 閉会	
会長	<p>それでは、以上で第8回審議会を閉じたいと思いますが、本日の審議を踏まえまして、明日、市長に中間答申を行いたいと思います。</p> <p>ここで、近重副市長からご発言があるようですので、よろしくお願いいたします。</p>
副市長	<p>委員の皆さんには、お仕事でご多忙なところ、これまで8回の審議会と、部会も複数回開催していただき、慎重にご審議の上、本日最終案を決定していただきました。</p> <p>この最終案を庁内の策定委員会にかけまして、議会の方へ議案として提案をして、それが議決を得ました後、3月に印刷をして皆様に配布をさせていただきますと思います。</p> <p>また、進捗管理も審議会ということでございますので、引き続き皆様にはご支援、ご協力をいただくということになるかと思っております。</p> <p>この総合振興計画に沿って、市としては事業を進めていきたいと思っておりますので、引き続きのご支援をいただきますよう、よろしくお願いいたします。</p> <p>ありがとうございました。</p>
会長	<p>皆さん、これまで慎重にご審議いただき、ありがとうございました。</p> <p>副市長からもご発言がありましたように、8回の審議会、そして加えて部会も複数回開催しての、総合振興計画と総合戦略の策定ということで、無事決定をいただいたということで、明日市長に答申をさせていただきます。</p> <p>重ねて私からも委員の皆様にお礼申し上げます。ありがとうございました。</p> <p>それでは、以上をもちまして、第8回審議会を終了いたします。</p> <p>お気をつけてお帰りください。ありがとうございました。</p>

(午後4時40分閉会、所要時間 1時間10分)